

井上眼科病院 同門会だより 第8回

医療法人仁光会 鬼怒川眼科医院 きぬかわ ゆういち 鬼怒川 雄一 院長

井上眼科病院で研修後、仙台で父の後を継いで11年が経ちました。入門時の私は大学院生出でもあり、遅れた臨床力を早く会得しようと焦っていました。そんな時、井上治郎先生から「先生、しっかりと研修を続けていたら大丈夫だよ。」と励ましのお言葉を掛けていただきました。そのお言葉通り井上眼科病院は諸先輩のご指導はもちろんです。検査部、看護部、手術室そして事務部と各部署の職員のまとまりがよく、きちんと分業されており、診療に専念出来る環境下で充実した研修生活を送ることが出来た事を深く感謝しております。

東日本大震災から3年が過ぎました。当時は途方に暮れておりましたが、現理事長の賢治先生やOBの先生方に多大なご支援を頂きました事は大変有り難く、忘れる事はできません。現在、最も死者が多かった宮城県も残念ながら復興が遅れており、通院できなくなった患者さんもおられます。後何年かかるか先が読めない現状ですが、今自分の出来ることを実行し、一步一步地域に貢献して行けたら幸いと考えております。今後共よろしくお願ひ申し上げます。



鬼怒川院長(前列中央)・スタッフの皆さんと井上理事長(前列右)



鬼怒川眼科医院

医療法人仁光会
鬼怒川眼科医院

〒980-0014
宮城県仙台市青葉区本町1-2-3
TEL 022-222-5388

西葛西・井上眼科病院
新副院長のご紹介



いのうえ じゅんじ
井上 順治 医師

2014年2月1日付で、西葛西・井上眼科病院 副院長に就任いたしました。

消費税法改正への対応について

2014年4月1日より、消費税法改正に伴い、消費税率が8%に引き上げられることとなりました。当グループにおける対応につきまして、以下の通りお知らせいたします。ご理解を賜りますよう、何卒お願い申し上げます。

1. 新税率適用開始年月日 2014年4月1日(火)より
2. 改定内容 差額ベッド代や、各種証明書類等の消費税に関わる料金について、8%の税率適応とする。



第16回 知っ得セミナー(無料)開催のご案内 ~毎月第2水曜日開催中~

日時:2014年4月9日(水) 午後2時30分~午後3時00分
場所:西葛西井上眼科子どもクリニック
テーマ:「知ってますか? カロリー『ゼロ』と『オフ』のちがい」
講師:中井 剛 (西葛西・井上眼科病院 管理栄養士)

今回は、栄養表示の「?」を、当院の管理栄養士が説明いたします。

お申し込みはお電話か当院職員まで TEL.03-5605-2100 どうぞ、お気軽にご参加ください。
第17回以降の予定は、決まり次第ホームページ (http://www.inouye-eye.or.jp/nk-hospital/) でお知らせいたします。

「井上眼科だより」に関するご意見・ご感想・取り上げて欲しいテーマ等ございましたら、広報課までご連絡ください。e-mail:press-agent@inouye-eye.or.jp



主な内容

- 2面 お茶の水だより:井上眼科病院レーシックセンター レーシックを受けて レーシック(近視矯正手術)説明会のお知らせ
- 3面 西葛西だより:子どもの目の病気について 西葛西井上眼科子どもクリニック 診療時間変更のお知らせ
- 4面 同門会だより(鬼怒川眼科医院 鬼怒川雄一 院長) 西葛西・井上眼科病院 新副院長のご紹介 知っ得セミナー



井上眼科病院 副院長 徳田 芳浩

年齢考

すでに皆さんのご記憶から薄れつつあるかも知れませんが、今年は冬季オリンピックの年でした。個人的にはスポーツに興味がないので、競技は観ていませんでしたが優勝者等のニュースはテレビで拝見しました。その中で非常に興味深いと思ったのが、15歳や18歳の若者が世界のトップレベルの技術で入賞(銀メダルと銅メダル)していた点です。

私の当院での重要な業務の一つに手術技術の伝承があります。眼科に限らず、一般に外科医がそのキャリアをスタートさせるのは医学部を卒業してある一定の研修を経てからとなり

ますので、どんなに早くても27歳以上になります。ここで気になったのが先のオリンピックメダリストの年齢です。手術という分野において、何らかの身体能力が必要とされることは確かですが、30歳目前という年齢は残念ながら生物学的にはすでにそのピークを過ぎています。以前から感じていたことですが、中学生ぐらいから手術研修をスタートさせることができれば、今のレベルで天才と呼ばれるような術者を簡単に養成できるでしょう。

これに対して、十分に知識のない子供のような術者では困るという指摘は当然のことと言えます。しかし、これは日本の教育システムが能力別進級を認めていないから起こることであります。何年か前にソ連製原子炉衛星の落下に世界中が気を揉みましたが、そのことをいち早く発見し落下軌道計算まで行ったのはイギリスのエリート

高校の天文学部員でした。15歳そこそこでも能力に応じた教育を行えば、医師として要求される知識を身に付けることは難しくない証拠でしょう。

それでもなお、そのような未熟な年齢で医業に適う人間性が獲得されていないであろう、という主張は高い正当性を持ち得るでしょう。私も特に反論するような根拠は持ち合わせていませんが、一つ気になることがあります。少なくとも私の経験では、義務教育を卒業後の、高校入試、大学医学部入試、同卒業試験、医師国家試験の数々の関門において、いまだかつて一度たりとも、人間性や人格について定量化された試験を受けたことはありませんし、その客観的評価が医師免許取得や維持に加味されたことはありませんでした。人は歳をとると自動的に立派になれるのでしょうか。だと、良いのですが。



お茶の水だより

近視矯正法のひとつ、レーシック (LASIK)。短時間で手術が済み、視力回復も早い点が特徴で、気軽に受ける方も多いようです。しかし、大切な眼をあつかう「手術」には違いなく、医療機関選びには注意が必要といえます。

井上眼科病院レーシックセンター

井上眼科病院では平成11年(1999年)よりレーシック外来を開設し、以来15年以上の豊富な臨床実績があります。年間500眼以上の手術を眼科専門医が施行し、患者さまからの満足度も98%と高い評価をいただいております。

近年、最新機器「WaveLight® EX500」等を備え、患者さま一人ひとりの眼に合わせた最適な治療が出来るよう、術前の説明・診察・検査や術後のフォローも含め万全の医療体制でレーシックに取り組んでいます。



WaveLight®EX500 (ウェーブライトEX500)

今回、皆さまにレーシックについて知っていただくよう、実際にレーシックを受けた当院医師に体験談を聞きました。レーシックの情報は、当院のホームページでも詳しく解説しています。あわせてご覧ください。



レーシックを受けて

井上眼科病院 医師 **森山 涼** (もりやま りょう)

レーシック (LASIK) を受けようと思ったきっかけは何ですか?

「もともとドライアイのため終日のコンタクト装用が困難で、特に最近始めた趣味のマラソンで不便を感じるようになったためです」

LASIKを受けるにあたって、不安はありませんでしたか?

「自分が眼科医であることもあり、LASIKの手術そのものの安全性の高

さについては以前から知っていました。また、LASIKを専門とする知人の複数の眼科医が自らLASIKを受けていることを知っていたので不安はほとんどありませんでした」

実際にLASIKを受けた感想は? 見え方の違いや不都合はありますか?

「手術を受けて本当によかったと思います。手術直後は夜間、光がにじむなど多少の見え方の変化を感じましたが、術後1ヵ月経った現在では光のにじみも軽減し特に気になりません。私にとって眼鏡やコンタクトレンズから解放されるというメリットに比べれば、それらの変化は無視できるほど小さいものだと分かりました」

眼科医としてLASIKを体験して、近視で悩んでいる方に伝えたいことは?

「LASIKは、厚生労働省が過去に臨床試験を行い承認された安全性の高い手術です。一部の報道により危険な手術という印象を持つ方もいらっしゃると思いますが、我々眼科専門医が中立で正しい情報提供を行うことが重要だと考えています。すべての手術や治療に当てはまることですが、それを受けることで自分自身が得られるメリット、デメリットをよく考えた上で決断されるのがよいと思います」



術後は月一回のペースでマラソン大会に出ています。

井上眼科病院レーシック (近視矯正手術) 説明会



レーシックに関心をお持ちの方、実際に検査・診察を受ける前に説明を聞いてみたいとお考えの方は、お気軽にご参加ください。担当医師との個別相談も可能です(希望者のみ、お一人5分程度)。

■日時: 2014年4月16日(水)、5月21日(水)、6月18日(水) 午後6時30分より1時間程度

■場所: 井上眼科病院1階 ■費用: 無料

■お電話での予約: 井上眼科病院レーシックセンター

フリーダイヤル **0120-48-4930** (受付時間: 午前9時~午後5時 ※日曜・祝日を除く)

※レーシック手術に関するご質問や資料請求もこちらでお受けします

■ホームページから予約:

井上眼科病院 レーシック

検索



西葛西だより

「西葛西井上眼科子どもクリニック」と「お茶の水・井上眼科クリニック 小児眼科外来」では、こどもの眼の疾患に専門的に取り組んでいます。今回は、こどもの目の気になる症状について解説します。

「見えにくい」のサインかも

西葛西・井上眼科病院 視能訓練士 **黒田 有里** (くろだ ゆり)

子どもが物を見る時に、目を細める、顔をまわす、顔を近づける、片方の目を隠すと嫌がる(もう片方は隠しても嫌がらない)、疲れやすい、あきっぽい、視線がずれているように感じる、などはありませんか。これらは見えにくいことを表すサインかもしれません。

子どもの視力は3歳位までに急速に発達し、3~4歳を過ぎると発達次第に緩やかになります。安定して1.0になるのは6歳頃です。弱視(眼鏡などで矯正しても視力が出ない状態)を防ぐために大切なことは、視力に対する感受性の高い3歳位までに弱視につながる原因をできるだけ早く見つけ、治療を開始することです。子どもは2~3歳位になると自覚的な視力の検査ができるようになってきます。まだ自覚的なお答えが難しい場合でも、眼科では視力の発達に影響を及ぼすような目の異常(目の疾患、屈折異常、斜視など)がないかの検査ができます。

春は新年度の始まり。子どもにとっても進級、進学など新生活のスタートの時期です。

子どもが新生活を快適に過ごすためにも視力は大切です。子どもの見え方やしぐさで気になることがありましたら眼科を受診して下さい。

早期発見・早期治療で子どもの目を守りましょう。



西葛西井上眼科子どもクリニック 診療時間変更のお知らせ

2014年4月1日(火)より、西葛西井上眼科子どもクリニックの診療時間を変更いたしました。

診療日	診療受付時間
月~土	午前 9時 00分 ~ 11時 30分 午後 2時 00分 ~ 4時 30分

※休診日: 第2水曜日の午後・日曜・祝日



西葛西井上眼科子どもクリニックは、予約の患者さまが優先となります。予約のない患者さまは待ち時間が長くなる場合がありますので、ご了承ください。

診察希望日の3か月前より、電話の他、web、携帯電話でのご予約が可能です。是非ご利用ください。



予約専用電話

年中無休・24時間受付

03-5605-2727



Web・携帯電話での予約

年中無休・24時間受付

http://yoyaku.co.jp/nk-inouye-eye-child/



スマートフォンにも対応しています